



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月26日

上場会社名 京都きもの友禅株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7615 URL <http://www.kyotokimonoyuzen.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 雅親  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 白岩 正樹 (TEL) 03-3639-9191  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	9,699	△2.4	707	127.3	823	99.8	538	78.9
28年3月期第3四半期	9,941	△8.4	311	△48.9	412	△39.0	301	△30.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 552百万円(125.5%) 28年3月期第3四半期 244百万円(△47.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	45.11	—
28年3月期第3四半期	25.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	15,640	7,582	48.5	634.95
28年3月期	15,539	7,532	48.5	630.70

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 7,582百万円 28年3月期 7,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	12.00	—	30.00	42.00
29年3月期	—	12.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	30.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,120	13.7	807	235.9	871	142.2	520	—	43.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	15,498,200株	28年3月期	15,498,200株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	3,555,564株	28年3月期	3,555,464株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	11,942,730株	28年3月期3Q	11,942,796株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策などを背景に、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、為替や株価の変動懸念などもあり、国内景気は依然として先行き不透明な状態で推移いたしました。

また、呉服業界におきましても、環境は引き続き厳しい状況にあるものと考えられます。

このようななか、当社グループでは商品構成や広告施策を中心に改善を図り、受注高増加に向けた取り組みを強化してまいりました。当社グループにおける各事業部門別の状況は次のとおりであります。

#### [和装関連事業]

「振袖」販売およびレンタルについては、成約率・平均単価が低下したものの、来店者数が増加したため、受注高は前年同期比1.2%増となりました。また、既存顧客を対象とした「一般呉服」等の受注高については、店外催事を中心に受注高が減少したため、前年同期比7.9%減となりました。

以上により、和装関連事業の受注高は、前年同期比5.0%減の8,920百万円となりました。また売上高（出荷高）については、2.1%減の9,296百万円となりました。

利益面においては、粗利益率は前年同期と比べ1.1ポイント改善し64.5%となりました。販売費及び一般管理費については、広告費・販促費を中心として経費全般の削減・効率化を図ってきたことにより、対売上高比では3.6ポイント改善いたしました。この結果、和装関連事業の営業利益は420百万円（前年同期は10百万円の営業損失）となりました。

#### [金融サービス事業]

金融サービス事業については、売上高は前年同期比10.0%減の403百万円、営業利益は10.5%減の289百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は前年同期に比べ2.4%減の9,699百万円、営業利益は127.3%増の707百万円、経常利益は99.8%増の823百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は78.9%増の538百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10.3%増加し、13,367百万円となりました。これは、現金及び預金が1,707百万円増加し、割賦売掛金が452百万円、商品及び製品が89百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて33.6%減少し、2,272百万円となりました。これは、投資有価証券が1,283百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、15,640百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、7,899百万円となりました。これは、買掛金が162百万円、未払法人税等が128百万円それぞれ増加し、前受金が343百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10.7%増加し、158百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、8,057百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、7,582百万円となりました。これは、利益剰余金が37百万円増加したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成28年4月27日に発表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

（4）追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,696,971	4,404,208
売掛金	11,166	13,090
割賦売掛金	5,540,986	5,088,125
有価証券	1,920,991	1,903,070
商品及び製品	1,604,074	1,514,990
原材料及び貯蔵品	26,442	36,584
その他	315,616	407,617
流動資産合計	12,116,249	13,367,687
固定資産		
有形固定資産		
土地	518,407	518,407
その他(純額)	325,729	387,720
有形固定資産合計	844,136	906,127
無形固定資産		
	30,934	18,343
投資その他の資産		
投資有価証券	1,742,072	458,269
敷金及び保証金	735,320	736,504
その他	70,653	153,257
貸倒引当金	△340	—
投資その他の資産合計	2,547,706	1,348,032
固定資産合計	3,422,778	2,272,503
資産合計	15,539,027	15,640,190

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	218,303	380,727
短期借入金	600,000	600,000
未払法人税等	94,504	222,553
前受金	1,409,587	1,065,860
預り金	3,787,363	3,772,554
賞与引当金	214,500	100,400
販売促進引当金	75,330	188,550
割賦未実現利益	816,769	780,567
資産除去債務	89,859	85,308
その他	557,614	702,592
流動負債合計	7,863,831	7,899,114
固定負債		
長期末払金	6,540	6,540
資産除去債務	135,173	151,522
繰延税金負債	1,160	92
固定負債合計	142,874	158,155
負債合計	8,006,705	8,057,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,215,949	1,215,949
資本剰余金	1,708,256	1,708,256
利益剰余金	7,936,684	7,973,853
自己株式	△3,335,465	△3,335,559
株主資本合計	7,525,424	7,562,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,897	20,420
その他の包括利益累計額合計	6,897	20,420
純資産合計	7,532,322	7,582,920
負債純資産合計	15,539,027	15,640,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	9,941,895	9,699,629
売上原価	3,606,544	3,424,015
売上総利益	6,335,351	6,275,614
販売費及び一般管理費	6,023,915	5,567,857
営業利益	311,435	707,756
営業外収益		
受取利息	1,433	340
受取配当金	3,831	2,559
信販取次手数料	82,484	69,055
違約金収入	—	25,979
雑収入	17,219	20,307
営業外収益合計	104,968	118,243
営業外費用		
支払利息	2,495	547
雑損失	1,662	1,601
営業外費用合計	4,158	2,149
経常利益	412,245	823,851
特別利益		
投資有価証券売却益	86,295	—
特別利益合計	86,295	—
特別損失		
固定資産除却損	551	4,793
特別損失合計	551	4,793
税金等調整前四半期純利益	497,989	819,058
法人税、住民税及び事業税	197,556	277,113
法人税等調整額	△712	3,180
法人税等合計	196,844	280,294
四半期純利益	301,145	538,763
親会社株主に帰属する四半期純利益	301,145	538,763

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	301,145	538,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56,198	13,523
その他の包括利益合計	△56,198	13,523
四半期包括利益	244,947	552,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,947	552,287
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装関連事業	金融サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,494,015	447,880	9,941,895	—	9,941,895
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	15,963	15,963	△15,963	—
計	9,494,015	463,844	9,957,859	△15,963	9,941,895
セグメント利益 又は損失(△)	△10,547	323,572	313,024	△1,589	311,435

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装関連事業	金融サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,296,318	403,311	9,699,629	—	9,699,629
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	16,179	16,179	△16,179	—
計	9,296,318	419,491	9,715,809	△16,179	9,699,629
セグメント利益	420,404	289,538	709,942	△2,185	707,756

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に變更しております。

この変更がセグメント利益に与える影響額は軽微であります。